

マネージャーOG からいただいた 2 通の手紙

片倉高校野球部 10 期生(2021 年入学生が 50 期の池田恵美さんからいただいた 2 通の手紙を紹介します。

— 毎年のご活躍、先生のご指導あつての事、心より感謝とともに応援しています。私は看護師として忙しい毎日の中、毎年夏の大会での片倉野球部から元気をいただいています。本当にありがとうございます。

私が通っている美容院での何気ない会話の中で、アシスタントの女の子が以前ベスト4の時の片倉野球部の応援に行ったこと。またその美容院のスタッフの中には片倉野球部の応援もいて、聞くと宮本先生にご指導いただいた方とのこと、大いに話が盛り上がりました。世の中狭いです。月一回行く美容院で時々片倉高校の野球部の活躍について話すのは楽しいです。

2012 年夏の大会でベスト4になったときのスタンドでたくさんの OB と再会することができました。野球部の卒業生たちと会いたいと言っていた初代監督・古市先生のために OB 会を開き先生が元気なうちに皆に合わせてあげられたことができたのもこの年の野球部の活躍のおかげです。本当にありがとうございます。宮本先生もお体に十分気をつけ、これからもますますのご活躍期待しております。育成功労賞受賞おめでとうございます。(2018 年 6 月)

— いつも野球部の OB や卒業生の方々と、片倉野球部の活躍に元気をいただき感謝しております。皆が応援しています。

昨年夏の大会 100 回記念大会で強豪国学院久我山、都立日野、そして日大三高との素晴らしい試合、ベスト 8 その後の秋の大会(対修徳戦勝利)とたくさんの御活躍おめでとうございます。

私なんて今は何もお手伝いしているわけでもなくともたくさんの方に「おめでとう」なんて声をかけられ、嬉しい気持ちになりました。皆様の事、皆が応援してくれています。3 年生の皆様はいよいよ卒業が近づいていますね。野球部や高校生活であった良いことも悔しかったことも悲しかったことも全てがいつか青春時代の大切な思い出となります。素晴らしい仲間と過ごした時間をこれからも大切にしてください。

昨年 100 回大会の夏、片倉高校野球部、初代監督・古市先生がお亡くなりになりました。8 月 5 日、甲子園大会開幕の日です。入院されていることを 3 期生の野球部の先輩から連絡いただき、お見舞いにかかせていただきました。その時先生は既に寝たきりでお名前を呼んでもわからず、目を閉じたままの状態でした。私が先生の耳元

で「片倉、高校の野球部、ベスト8になりましたよ。日大三高との試合、選手は頑張ってくれましたよ。OBのみんな、先生のおかげで今も頑張っています」などいろいろ話しかけると、先生は目を開けて「うう」と涙を流されました。

先生に今の野球部の活躍が伝わりました。本当にありがとうございました。先生の奥様は「話しかけても反応がなかったのに」と驚いていられました。それからしばらくして甲子園の開会式の日には先生は旅立たれました。…(中略)… 私は今もずっと母校を思い、応援し、夏の大会を楽しみに夢を追っています。忙しい仕事や生活の中、皆様の活躍している姿から、自分の高校時代をふと思い出すと言う人もいます。「甲子園」は皆の夢です。いつも応援しています。そして感謝しています。(2020年2月)

このお手紙をいただき、選手に読んで聞かせた。そして、グラウンドで、全員で古市先生に黙祷した。私も東大和の頃、連盟の理事の仕事もやられていた古市先生の髭をたくわた顔を何度か拝見することはあったが、残念ながら直接お話しすることはなかったと思う。

先輩方が築き上げた50年近い片倉高校野球部の歴史の中に今の自分たちがいること。そしてたとえあったことはなくても、自分たちの頑張りを見ていてくれる人がいる。応援してくれる人がいる。そして元気をもらっているとまで言ってもらえる。そんな中で野球ができている私たちは幸せである。高校、野球の素晴らしさここにあり。そんなことを選手に話した。